



宝くじの助成金で江川区が祭り用具の整備を行いました

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を活用し、江川区が祭り用具の整備を行いました。

先月の秋祭りにも登場し、太鼓や笛の音色が地域に響き渡る、大変賑やかな1日となりました。



宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力のある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための「コミュニティ助成事業」を行っています。



「文化講演会」のお知らせ「雑賀衆と火縄銃」

元和歌山市立博物館 学芸員 太田 宏一 氏
※講演後、紀州雑賀鉄砲衆による鉄砲演武

○日時：令和6年11月23日(土) 13:30～
○場所：日高川交流センター 2階会議室

お問合せ 川辺公民館 ☎0738-22-9553



11月30日は「年金の日」です

厚生労働省では、「国民お一人おひとり、「ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、11月30日(いいみらい)を「年金の日」としています。

この機会に、「ねんきんネット」でご自身の年金記録や年金見込額を確認し、将来の生活設計について考えてみませんか。

「ねんきんネット」では、パソコンやスマートフォンからいつでもご自身の年金記録を確認できるほか、ご自身の年金記録から様々な条件を設定したうえで、年金

見込額の計算をすることもできます。

また、マイナポータルと連携することで、国民年金保険料の口座振替申出等の電子申請や確定申告で利用可能な控除証明書等の電子データの取得ができます。

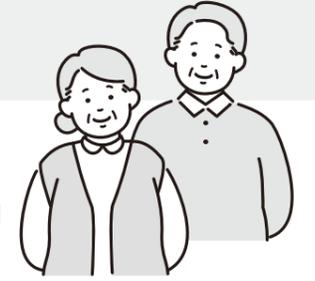
ご利用については、日本年金機構ホームページをご覧ください。

○日本年金機構ホームページ(ねんきんネット)
https://www.nenkin.go.jp/n_net/



お問合せ 住民課 ☎0738-22-1701 / 田辺年金事務所 ☎0739-24-0432

後期高齢者医療制度にご加入の皆様へ



令和6年12月2日から、保険証の発行ができなくなります。
ただし、現在お持ちの保険証は令和7年7月31日までご利用いただけます。
なお、保険証を紛失されたり、住所など記載内容を変更された方、また、12月2日以降に75歳になるなど後期高齢者医療制度に移行される方は次のとおりとなります。

保険証利用登録がされたマイナンバーカード(マイナ保険証)をお持ちの方

医療機関等に受診の際はマイナ保険証をご利用ください。

マイナ保険証をお持ちでない方

「資格確認書」が交付されますので、医療機関等に受診の際は資格確認書をご提示ください。

現在保険証をお持ちの方も、マイナンバーカードの保険証利用登録がお済みでしたら、マイナンバーカードで医療機関等を受診できます。

マイナンバーカードをお持ちでない方、マイナンバーカードを持っているが保険証利用登録をされていない方は、マイナンバーカードの保険証利用登録を今一度ご確認ください。

Q 保険証のほか、医療機関等に提示する限度額適用認定証等はどちらになりますか？

A ①限度額適用認定証および限度額適用・標準負担額減額認定証も令和6年12月2日で廃止されますが、現在お持ちの証は有効期限(令和7年7月31日)まで使用できます。

紛失等による再発行は令和7年7月31日まで可能です。
マイナ保険証をご利用の方は、限度額適用認定証等の提示は必要ありません。
資格確認書をご利用の方は、限度額適用認定証等の内容を資格確認書に併記することができます。

A ②特定疾病療養受療証は廃止されませんので、引き続き使用できます。
マイナ保険証をご利用の方は特定疾病療養受療証の提示は必要ありません。
資格確認書をご利用の方は、特定疾病療養受療証を合わせてご提示いただくか、特定疾病療養受療証の内容を資格確認書に併記することができます。

※資格確認書へ併記するには申請が必要です。一度申請すると資格確認書が更新されても原則併記されます。
※条件によって資格確認書に初めから併記されている場合があります。
※マイナ保険証に対応していない医療機関等を受診する場合は、保険証や限度額適用認定証等の提示が必要となります。

お問合せ 保健福祉課 ☎0738-22-9041 / 和歌山県後期高齢者医療広域連合 ☎073-428-6688

紀勢本線の利用促進について



電車は、子どもから高齢の方まで誰もが利用しやすく、特に車を運転しない方にとっては、なくてはならない大切な交通手段です。

近年、道路交通網の進展により、電車の利用、特に私たちの生活基盤である紀勢本線の利用者数は年々減少しています。生活基盤であることはもとより、地域振興や産業振興にとっても欠かせない紀勢本線を地域で支えることも必要です。

このため、紀勢本線活性化促進協議会加盟の市町村では、様々な取り組みを行っていますが、町民の皆様におかれましても、地域の鉄道を守るためにも、旅行などでお出かけの際には、
◇渋滞なしで時間に正確 ◇安全性が高い
◇地球環境への影響が少ない
といった利点の多い電車を、ぜひご利用ください。

紀勢本線活性化促進協議会